

4 財産

財産の状況は、第52表のとおりです。

第52表 財産の状況

区 分	単位	30年度末 現在高	元年度中 増減高	元年度末 現在高
公有財産				
土地	㎡	16,763,651	47,599	16,811,250
建物	㎡	1,967,213	△771	1,966,442
立木	㎡	157,882	604	158,486
船舶	隻(t)	2(135)	0	2(135)
浮棧橋	個	9	△1	8
無体財産権	㎡	8,537	0	8,537
有価証券	件	21	△1	20
出資による権利	千円	380,432	0	380,432
	千円	6,206,594	0	6,206,594
	㎡	167,304	0	167,304
物品	点	3,155	29	3,184
債権	千円	1,855,671	△138,543	1,717,128
住宅建設資金貸付金	千円	5,202	△2,964	2,238
播但線電化高速化事業資金貸付金	千円	541,441	0	541,441
奨学貸付金	千円	317,250	△91,180	226,070
借上公舎敷金	千円	2,812	△746	2,066
網干健康増進センターにおける事故に係る被災者生活支援資金貸付金	千円	1,531	△1,116	415
臨床研修医奨励金貸付金	千円	159,200	△950	158,250
生活保護費過年度返還金	千円	340,360	△37,652	302,708
母子父子寡婦福祉資金貸付金	千円	482,615	△2,888	479,727
播戸奨学金貸付金	千円	5,260	△1,047	4,213
基金	千円	67,213,761	△873,453	66,340,308
霊苑えい地清掃基金	千円	494,731	101	494,832
保健医療推進基金	千円	100,002	50	100,052
愛の基金	千円	1,459,802	32,262	1,492,064
財政調整基金	千円	14,307,238	7,837	14,315,075
美術品取得基金	千円	250,000	0	250,000
減債基金	千円	1,727,269	536	1,727,805
国際交流基金	千円	372,290	0	372,290
文化振興基金	千円	1,091,572	1,000	1,092,572
地域社会活性化基金	千円	1,137,123	△97,872	1,039,251
緑化基金	千円	1,135,918	108	1,136,026
美化啓発基金	千円	325,119	362	325,481
21世紀都市創造基金	千円	18,469,598	△480,058	17,989,539
地域振興基金	千円	4,000,000	0	4,000,000
土地開発基金	千円	5,000,000	0	5,000,000
介護保険給付費準備基金	千円	4,108,614	109,270	4,217,883
奨学学術振興基金	千円	1,092,755	4,966	1,097,721
特別会計等財政健全化調整基金	千円	7,433,681	△153,858	7,279,823
国民健康保険財政安定化基金	千円	4,708,050	△298,157	4,409,893

- (注) 1 物品は、取得価格又は評価額が100万円以上のものです。
 2 令和元年度末現在高は、令和2年3月31日現在のものです。
 3 有価証券は、券面額です。

(1) 公有財産

ア 土地

土地の当年度末現在高は 16,811,250 m²で、前年度末に比べ 47,599 m²・0.3%増加しています。これは、主として福泊最終埋立処分場 (21,054 m²) や旧書写西住宅処分予定地 (3,189 m²) の売却により減少したものの、安富スポーツセンター (35,670 m²) や大塩ゴルフ場貸付地 (6,167 m²) の取得により増加したためです。

イ 建物

建物の当年度末現在高は 1,966,442 m²で、前年度末に比べ 771 m²・0.0%減少しています。これは、主として中寺こども園 (1,308 m²) や豊富小学校 (685 m²) の新築により増加したものの、市川住宅 (3,015 m²) や選挙管理委員会余部倉庫 (520 m²) の撤去により減少したためです。

ウ 立木

立木の推定蓄積量の当年度末現在高は 158,486 m³で、前年度末に比べ 604 m³・0.4%増加しています。これは、立木の推定成長率を乗じたことによるものです。

エ 動産

動産の当年度末現在高は 10 件で、前年度末から浮棧橋が 1 件減少しています。
なお、当年度末現在の動産の内訳は、船舶登記されている船舶 2 隻、浮棧橋 8 個となっています。

オ 物権

物権の当年度末現在高は 8,537 m²で、前年度末から増減はありません。
なお、当年度末現在の物権の内訳は、山林に設定した地上権です。

カ 無体財産権

無体財産権の当年度末現在高は 20 件で、前年度末から特許権が 1 件減少しています。
なお、当年度末現在の無体財産権の内訳は、著作権 9 件、特許権 1 件及び商標権 10 件となっています。

キ 有価証券

有価証券の当年度末現在高は 380,432 千円で、前年度末から増減はありません。

なお、当年度末現在の有価証券の内訳は、株券が 403,950 株・380,332 千円、出資証券が 1,100 口・100 千円となっています。

ク 出資による権利

出資による権利の当年度末現在高は出資金・出捐金が 6,206,594 千円、出資土地が 167,304 m²で、前年度末から増減はありません。

なお、当年度末現在の出資による権利の内訳は、出資金が 20 団体で 5,584,708 千円、出捐金が 13 団体で 621,886 千円、出資土地は 1 団体で 167,304 m²となっています。

(2) 物品

物品の当年度末現在高は 3,184 点で、前年度末に比べ 29 点・0.9%増加しています。これは、主として棚類、雑具類、土木機械器具類、理化学機械器具類が増加したためです。

(3) 債権

債権（当年度の歳入に係る債権を除く。）の当年度末現在高は 9 件 1,717,128 千円で、前年度末に比べ 138,543 千円・7.5%減少しています。これは、主として奨学貸付貸付金で 91,180 千円減少したためです。

(4) 基金

基金の当年度末現在高は 18 基金 66,340,308 千円で、前年度末に比べ 873,453 千円・1.3%減少しています。これは、主として介護保険給付費準備基金で 109,270 千円、愛の基金で 32,262 千円それぞれ増加したものの、21世紀都市創造基金で 480,058 千円、国民健康保険財政安定化基金で 298,157 千円、特別会計等財政健全化調整基金で 153,858 千円、地域社会活性化基金で 97,872 千円それぞれ減少したためです。

公有財産のうち未利用土地の利活用については、「姫路市公有財産利活用基本方針」に基づき、管理コストやリスクを意識した上で、他用途での利活用及び自主財源を確保するための売却や貸付による有効活用に努めるとともに、基金についても基金の設置目的に応じた積極的な利活用や効率的な運用を図ることを要望します。

5 その他

(1) 資金収支

当年度（出納整理期間を含む。）の一般会計及び特別会計における資金収支の状況は、第53表のとおりです。

第53表 資金収支の状況

(単位 千円)

年	月	収入累計	支出累計	収 支 差 引 残 高	基金繰替運用額		一時借入金等	
					最 高 額	月 末 現 在	最 高 額	月 末 現 在
元	4	6,369,750	11,290,247	△4,920,497	10,000,000	10,000,000	—	—
	5	24,140,314	23,998,312	142,002	10,000,000	—	—	—
	6	70,087,060	51,247,895	18,839,165	—	—	—	—
	7	87,752,627	68,087,115	19,665,511	—	—	—	—
	8	111,222,736	88,839,700	22,383,036	—	—	—	—
	9	137,234,145	119,829,436	17,404,709	—	—	—	—
	10	163,651,937	144,044,808	19,607,129	—	—	—	—
	11	181,735,534	162,837,661	18,897,873	—	—	—	—
	12	214,453,131	189,876,499	24,576,632	—	—	—	—
2	1	230,467,946	206,407,111	24,060,835	—	—	—	—
	2	238,768,994	226,015,737	12,753,256	—	—	—	—
	3	291,202,272	266,264,289	24,937,983	2,000,000	—	5,000,000	2,000,000
出 納 整 理	4	310,360,874	304,959,106	5,401,768	—	—	2,000,000	2,000,000
	5	327,751,548	316,494,970	11,256,578	—	—	2,000,000	—

(注) 1 「収入累計」及び「支出累計」は、それぞれ一般会計又は特別会計に属する歳計現金の収入額及び支出額の累計です。

2 令和2年4月及び5月においては、各会計間の資金運用及び基金の繰替運用の他、出納整理期間中の令和元年度の資金の運用も行っています。

一般会計及び各特別会計における一時的な資金不足を補うため、各会計間で資金を運用するとともに、基金からの一時繰替運用及び市中金融機関からの一時借入金等による資金繰りがなされています。

金融機関からの一時借入金等については、最高額は5,000,000千円で1,687千円の利息が金融機関へ支払われています。

基金からの一時繰替運用は、財政調整基金及び特別会計等財政健全化調整基金により行われ105千円の利息が基金に支払われています。利息の支払額は、前年度(61千円)

に比べ 44 千円・72.1%増加しています。

また、繰替運用も含めた基金全体の利子収入は 58,027 千円となっています。

歳計現金の運用等による受取利子は 6,756 千円となっており、前年度 (7,136 千円) に比べ 380 千円・5.3%減少しています。

また、一般財団法人姫路市まちづくり振興機構への 300,000 千円の運営資金貸付金の利子収入は 28 千円となっています。

今後とも、日々の収支予定を的確に把握し、資金収支に支障を来すことのないよう適切な資金繰りを図るとともに、資金の安全かつ効率的な運用・管理に努めるよう要望します。

(2) 出資団体

本市の出資比率が4分の1以上である出資団体の状況は、第54表のとおりです。

第54表 出資団体への出資及び支出の状況

(単位 %、千円)

出 資 団 体 名	元年度末 出資状況		元年度支出額		
	出資 割合	出資金 等の額	補助金	委託料	貸付金
一般財団法人姫路市まちづくり振興機構	100.0	80,000	—	1,021,281	300,000
公益財団法人姫路市中小企業共済センター	100.0	100,000	62,245	—	—
社会福祉法人姫路市社会福祉事業団	100.0	5,000	—	1,157,081	—
公益財団法人姫路・西はりま地場産業センター	67.1	102,400	—	3,993	—
公益財団法人姫路市救急医療協会	50.2	20,200	—	862,984	—
イーグレひめじ管理株式会社	49.2	30,000	—	35,112	—
アイシーエス姫路市ウェルフェア株式会社	48.0	24,000	—	—	—
姫路ウォーターフロント株式会社	40.0	80,000	—	—	—
株式会社姫路ポートセンター	25.7	96,000	—	510	—
合 計	—	537,600	62,245	3,080,960	300,000

出資金等の額は前年度と同額で、当年度に増資等の新たな出資はありませんでした。なお、公益財団法人姫路市中小企業共済センターに事業補助金として 62,245 千円、一般財団法人姫路市まちづくり振興機構等 6 団体に委託料（指定管理料を含む。）として 3,080,960 千円をそれぞれ支出しています。また、一般財団法人姫路市まちづくり振興機構への運営資金貸付金として 300,000 千円を貸し付けています。

各出資団体は、本市から独立した事業主体として自律的な運営を求められ、経営責任は経営者自らが負うことを原則とする一方、本市と密接な関係を持ち、公共的なサービスを効率的かつ効果的に提供することによって、本市の行政目的の達成に寄与することが期待されるという側面を併せ持っています。また、本市は出資者として、出資団体の経営状況等を把握し、健全な経営が維持されるように指導・監督等の適切な関与を行わなければなりません。9 出資団体のうち、姫路ウォーターフロント株式会社については、徐々に累積損失は減少していますが、依然として債務超過の状態が継続しています。経営状況等に問題があれば、現時点での事業の意義や採算性、将来見通し等を精査し、事業継続の是非や事業手法の選択についても検討すべきであると考えます。

6 基金運用状況

地方自治法第241条第5項の「特定の目的のために定額の資金を運用するための基金」には、次の2つの基金が該当します。

(1) 土地開発基金

本基金の運用状況は、第55表のとおりです。

第55表 土地開発基金運用状況

(単位 千円)

区 分	前 年 度 末 現 在 高	元年度中増減高		当 年 度 末 現 在 高
		増 加	減 少	
現 金 預 金	4,262,103	390,007	796,486	3,855,623
土 地	737,897	796,486	390,007	1,144,377
合 計	5,000,000	1,186,493	1,186,493	5,000,000

当年度末現在の本基金の総額は、前年度末と同額の5,000,000千円です。

当年度は、内環状東線用地(524,919千円)、広畑幹線用地(192,115千円)、城北線用地(50,857千円)、大塩駅周辺整備用地(16,865千円)及び天満公園用地(11,730千円)を本基金が新たに取得しています。一方、本基金が保有している、手柄山中央公園用地(248,182千円)、天満公園用地(98,902千円)、糸引公園用地(31,651千円)及び城北線用地(11,271千円)が一般会計により買戻されています。

この結果、当年度末の本基金の内訳は、現金預金3,855,623千円及び土地1,144,377千円となっています。

なお、当年度本基金において生じた利子収入375千円は、一般会計の歳入として処理されています。

今後も、本基金の運用に当たっては、先行取得の必要性を十分に検討した上で、本基金の設置目的に沿った適切な運用に努めるよう要望します。

(2) 美術品取得基金

本基金の運用状況は、第56表のとおりです。

第56表 美術品取得基金運用状況

(単位 千円)

区 分	前年度末 現在高		元年度中増減高				当年度末 現在高		基金による 購入累計	
			増 加		減 少					
	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額	点数	金額
動 産	1	251	—	—	1	251	—	—	2,086	4,468,222
日本画	—	—	—	—	—	—	—	—	251	889,548
油 彩	—	—	—	—	—	—	—	—	317	2,170,583
水彩・素描	—	—	—	—	—	—	—	—	314	556,894
版 画	—	—	—	—	—	—	—	—	1,075	485,353
彫刻・立体	—	—	—	—	—	—	—	—	33	304,420
そ の 他	1	251	—	—	1	251	—	—	96	61,425
現金預金	249,749		251		—		250,000		—	
合 計	250,000		251		251		250,000		—	

当年度末現在の本基金の総額は、前年度末と同額の 250,000 千円です。

当年度の本基金の運用においては、動産（美術品）の購入はなく、一般会計より 251 千円の買戻しを受けています。この結果、当年度末の現在高は、現金預金 250,000 千円となっています。

本基金が設置された昭和55年から当年度末までの美術品の購入額は 2,086 点・4,468,222 千円となっています。

なお、当年度本基金において生じた預金利息 52 千円は、一般会計の歳入として処理されています。

当年度は本基金による美術品の購入はありませんが、収蔵品が市民の共有財産であることを認識し、本基金をその設置目的に沿って有効に活用するよう要望します。